

にゆうがく おめでとう



入学おめでとう

宍喰小学校 平成28年4月11日



海陽町議会だより

3月定例会

発行 徳島県海陽町議会 TEL (0884) 73-4164
編集 広報編集特別委員会 E-mail gikai@town.kaiyo.lg.jp

Vol. 40 (2016.5)

おもな内容

当初予算	2P
子どもあゆみ事業	4P
一般質問	8P
委員長報告	12P
施政方針	14P

災害対策・教育・子育て環境整備などに

平成28年度
予 算

一般会計 67億5,300万円

前年比+3億2,300万円

平成28年度の当初予算（一般会計、15特別会計、2企業会計）は審議の結果、すべて原案の通り可決しました。

ふるるんの家計簿

（年間67万5千円だとしたら？）

H28.3.31
住基人口 9,935人

アルバイト収入
（自主財源）
12万6千円

親の仕送り
（依存財源）
54万9千円

学 費
（民生費：17万4千円）
（教育費：6万9千円）
24万3千円

貯 金
（予備費）（諸支出金）
1千円

食 費
（議会費：7千円）
（総務費：9万2千円）
9万9千円

奨学金などの返済
（公債費）
8万1千円

家 賃
（農林水産業費：4万4千円）
（土木費：6万8千円）
11万2千円

光熱水道費
（消防費：4万9千円）
（衛生費：7万2千円）
（商工費：1万5千円）
（災害復旧費：3千円）
13万9千円



海部川風流マラソン
キャラクター
ふるるん

平

成28年度の当初予算が決まりました。

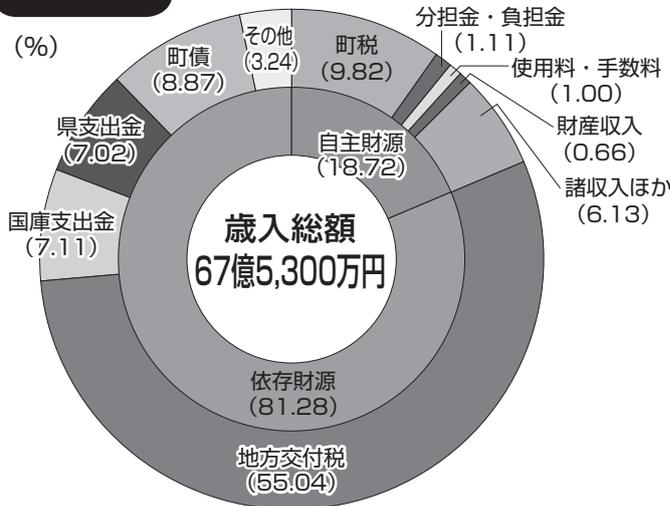
一般会計当初予算の総額は、67億5300万円、前年度に比べて3億2300万円の増加となっています。

歳入では、町民の皆さまに納めていただく町税が、固定資産税における評価替えや軽自動車税の税率改正などにより2250万円増の6億6314万円。国からの地方交付税は、1億2400万円減の37億1679万円。町債は、海部公民館耐震改修事業、町道海南柿谷線改良事業の増などにより、前年度に比べて1億5620万円多い5億9890万円となっています。財源の不足額を補うため、財政調整基金から3億円繰り入れています。

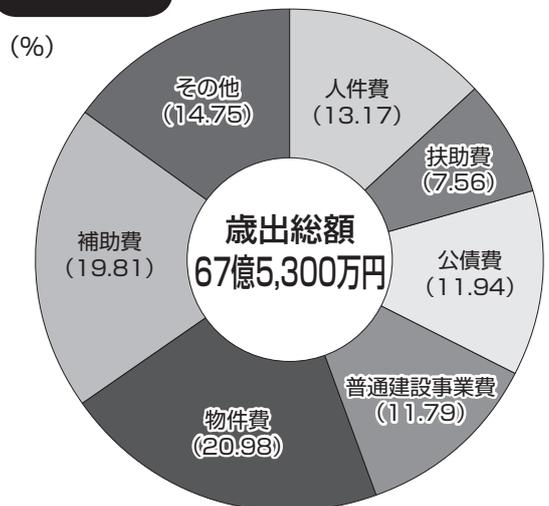
歳出では、国民健康保険特別会計繰出金1億2376万円、海南病院事業会計繰出金は2億8000万円を計上しています。災害復旧費が大きく減少した一方、旧穴喰庁舎周辺整備事業、海部公民館耐震改修事業、町道海南柿谷線改良事業などの普通建設事業費が4億1909万円増の7億9591万円となっています。

また、国の補正予算に伴い、「海陽町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた目標達成のため実施する地方創生加速化交付金事業8362万円や地籍調査事業2850万円などを前倒し補正予算（平成27年度3月補正）として計上しています。

歳入



歳出



目的別歳出

歳出総額 67億5,300万円	議会費 議員の運営など。 7,064万円	総務費 役場の管理運営・財産管理・地域振興対策など。 9億2,029万円	民生費 社会福祉や生活扶助など。 17億3,512万円	衛生費 保健衛生、ごみの清掃、し尿処理など。 7億2,152万円	農林水産業費 農業・林業・水産業の振興など。 4億4,220万円	商工費 商業・工業の振興など。 1億4,856万円
土木費 道路・橋の建設、維持管理など。 6億7,909万円	消防費 消防・水防・防災対策など。 4億9,377万円	教育費 教育・文化・スポーツ施設の充実など。 6億9,431万円	災害復旧費 インフラ、ライフラインなどの復旧。 2,540万円	公債費 償還（借金返済）など。 8億640万円	諸支出金 寄付金、基金積み立てなど。 376万円	予備費 急な災害復旧など。 1,194万円

(※金額はすべて千円以下を四捨五入しています。)

未来への投資

～子どもあゆみ事業～

今までの子ども子育て事業に加えて今年度より新しい事業が始まります！

海陽っ子への無料レンタベビーカー、 レンタベビースト、レンタチャイルドシート！ 85万円

- 海陽町で生まれた赤ちゃん、保護者を応援するために、ベビー用品を無料でレンタルします。
- ☆レンタルするもの・・・ベビーカー、ベビースト、チャイルドシート（すべて新生児用、各5台）
 - ☆利用できる人・・・赤ちゃんと保護者が海陽町内に住所を有する者
 - ☆レンタル期間・・・子どもが満1歳に達する日まで
 - ☆申請受付・・・出産予定日の3ヶ月前から

18歳まで医療費無料！ 600万円

- 医療費の無料（ただし1科あたり1ヶ月600円は自己負担）を18歳まで拡大します。
- ☆利用できる人・・・海陽町内に住所を有する18歳までの者

給食に伊勢エビ！ 10万円

小学校6年生、中学校3年生に年1回伊勢エビなどを活用した給食を提供し、どの時期にどのようなものが町内で取れて味はどうか。食べることによって町の良さを教育していく事業です。

婚活！！ 115万円（うち県補助金50万円）

新たな出会いの場づくりや司会運営など、出会いから後押しまでを婚活専門事業者にお手伝いしていただく事業です。



空き家 条例制定

平成28年4月1日より、

『海陽町空き家等の適切な管理に関する条例』が施行されます。

このことにより、今後、

海陽町では、空き家等対策計画を作成して、これ

に基づいて空き家等に關

する対策の実施、そ

の他適切な措置を

講ずるよう努め

るようになり

ます。



子どもたちの安心
通学のために



スクールバス

平 成9年より19年使用し、シートのスポンジが飛び出したり等、老朽化した海南小学校のバスを、25人乗りのシートベルト付きスクールバスに買い替えます。

スクールバス購入
776万円

文化芸術による
地域活性化のために



オーケストラコンサートに向けて町内コーラスサークルも練習しています（文化館）

海 南文化館において、7月9日（土）に「ときめきオーケストラコンサート in 海陽」を開催します。プロの演奏家によるクラシックコンサート。一流の音楽家に指導を仰ぐ機会も設け、海陽町のコーラスの会、小学生がプロと共演します。
1372万円のうち1050万円が（宝くじ、国、県、公益財団法人より）助成金です。

オーケストラコンサート
1372万円

事故防止 



松原町民グラウンド
防球ネット整備

野 球ボール等が車道に飛び出て通行障害にならないように、グラウンドの町道沿いに長さ70m、高さ7mのフェンスを設置します。

松原町民グラウンド
防球ネット新設
650万円

豊かな
海づくり



トコブシ（ナガレコ）放流事業

磯 付きの魚などを大事に育てるためにカサゴ、トコブシ、伊勢海老稚魚を放流、さらには魚飼付け事業、アオリイカの産卵場などを実施します。

水産業
振興費
稚魚放流などに
551万円

海部公民館耐震改修工事

9700万円

住民の安心できる 避難場所に



海部公民館（大会議室）

築 41年が経過し、老朽化が進んでいるため、耐震改修工事を行います。1階調理室の全面改修、4階の壁・床の一部改修、トイレは全て洋式に変わります。耐震ができれば、住民の避難場所となります。

民間建築物耐震化事業

2100万円

（緊急輸送路沿いの建物）

地震に 備えて



国 道55号沿いで地震により倒壊し、道路をふさぐ可能性のある建物を耐震診断します。1戸105万円です。2戸分です。

DMV実用化に向けて

832万円

阿佐東線の 救世主



DMV

徳 鳥県も、地方鉄道の救世主として、一日も早い導入を目指し取り組みを加速させています。町としても、県の後押しにより、道路と線路の接続施設や駅ホーム等の具体的な調査及び詳細設計を実施します。

耐震シェルター設置支援

160万円

まったなし！**（続）** 住まいの耐震化



耐震シェルター

現 在、住まいの耐震化の普及が思うように進んでいません。このため、本格的な耐震工事に比べて工事期間が短く、安価に施工できる耐震シェルターの設置を支援します。

65歳以上の高齢者だけの世帯が対象となり、設置費用の4/5（最高80万円まで）を補助します。

人事案件に同意

任期満了にともない富田充宏氏を教育委員会委員に任命することに同意しました。任期は平成28年5月28日から平成32年5月27日まで4年間です。

富田 充宏 氏



町村議会議員 自治功労者表彰

祝



三浦 茂貴 議員
11年以上在籍



見吉 政貴 議員
27年以上在籍

議会のうぶき

1月1日から
3月31日まで

1月

- 8日 議会広報編集特別委員会
- 18日 議会広報編集特別委員会
- 21日 議会運営委員会
- 28日 女性議員連盟総会（徳島市）
- 29日 議会全員協議会
- 29日 第1回臨時会

2月

- 5日 市町村トップセミナー（徳島市）
- 8日 美波町医療保健センター安全祈願祭
- 9日・10日 海部郡・安芸郡議長会合同国土交通省・国会議員要望活動会（東京都）
- 10日 日本ユネスコ・プロジェクト未来遺産登録記念式典
- 15日 美波町立病院落成式

3月

- 1日 第67回徳島県町村議長会総会・「自治功労・町村議会表彰」（徳島市）
- 7日 第1回定例会開会
- 7日 議会運営委員会
- 7日 総務産業建設常任委員会
- 8日 文教厚生常任委員会
- 9日 総務産業建設常任委員会
- 10日 第1回定例会委員長報告・一般質問
- 11日 第1回定例会議案審議・閉会
- 17日 議会広報編集特別委員会
- 21日 県水産技術支援センター起工式（美波町）
- 25日 海部郡議長会定例会及び那賀・海部地区議長会議
- 29日 美波町合併10周年記念式典
- 30日 議会全員協議会
- 30日 第2回臨時会
- 30日 議会広報編集特別委員会
- 31日 女性議員連盟視察調査
- 29日 議会運営委員会
- 29日 議会全員協議会

3月補正予算後の 歳入歳出予算

歳入	3月補正	補正後	構成比率
町税	0	6億4,058万7千円	8.1
地方譲与税	0	5,780万円	0.7
利子割交付金	0	100万円	0.0
配当割交付金	0	480万円	0.1
株式等譲渡所得割交付金	0	510万円	0.1
地方消費税交付金	0	1億2,070万円	1.5
自動車取得税交付金	0	460万円	0.1
地方特例交付金	0	120万円	0.0
地方交付税	△754万8千円	41億1,598万8千円	52.3
交通安全対策特別交付金	0	120万円	0.0
分担金・負担金	△1,010万4千円	8,037万7千円	1.0
使用料・手数料	0	5,081万3千円	0.6
国庫支出金	6,401万6千円	6億2,028万8千円	7.9
県支出金	1,596万3千円	5億7,971万8千円	7.4
財産収入	0	4,467万9千円	0.6
寄附金	139万3千円	209万3千円	0.0
繰入金	98万3千円	4億5,503万4千円	5.8
繰越金	0	8,557万8千円	1.1
諸収入	523万9千円	2億1,348万3千円	2.7
町債	△470万円	7億9,060万円	10.0
合計	6,524万2千円	78億7,563万8千円	100.0

歳出	3月補正	補正後	構成比率
議会費	△95万6千円	7,740万4千円	1.0
総務費	9,712万2千円	10億1,990万3千円	13.0
民生費	△282万7千円	18億7,706万1千円	23.8
衛生費	3,775万3千円	7億7,047万1千円	9.8
農林水産業費	1,345万7千円	4億8,148万8千円	6.1
商工費	△1,735万8千円	1億7,297万9千円	2.2
土木費	△741万1千円	9億1,553万4千円	11.6
消防費	△1,980万1千円	4億5,713万2千円	5.8
教育費	△533万円	6億468万4千円	7.7
災害復旧費	△2,000万円	3億2,677万3千円	4.1
公債費	△1,080万円	9億5,415万円	12.1
諸支出金	139万3千円	2億598万8千円	2.6
予備費	0	1,207万1千円	0.2
合計	6,524万2千円	78億7,563万8千円	100.0

海陽町の人事評価制度とは



三浦 茂貴 議員

地方公務員法の一部改正が交付され、この4月から全ての自治体で人事評価を行うことになった。

〈総務課長〉 結果を給与等の基礎として扱う

問 海陽町の人事評価制度とは、どのようなものなのか。いつ、誰が、どのように評価するのか。

答 佐藤総務課長
人事評価の結果を給与等の基礎と扱い、職員の人材育成に活用して、住民サービスの向上に繋げたい。

4月から翌年3月の一年間で一次評価者の部門長と面談を行い、個人の目標設定を決める。二次評価者は副町長、教育長で最終確認者は副町長、教育長で二次評価者及び確認者は町長。

能力評価と業績評価を設定しており、能力評価項目の内容は、各部門ほぼ同じ内容で設定している。業績評価は各個人で目標を立て、その結果に対して達成度を評価する。

問 今回の法律改正では、良ければ地位も給料も上がり、悪ければ下が

般

質

問

マラソンの応援の方を飽きさせないように

はか
〈副町長〉実行委員会に諮る

る。勤め手当や昇給、降級にどの程度差を付けるのか。

答 総務課長
平均と1ランク上とでは勤め手当で一割ぐらいの差が出る。能力評価では昇給区分を5段階としている。

問 臨時職員も人事評価をして、賃金に反映させればと思うがどうか。

答 前田町長
臨時職員は一年で辞める方もいるし、異動もない。総合的に判断して、人事評価を当てはめるのは厳しいので、今の段階では考えていない。

問 海部川風流マラソンで大変な思いをしているボランティアの方々や応援の人たちを飽きさせないような新しい取り組みをする必要があると思う。待ち時間の長いポイントの方々も一日中楽しめるようなイベントにしてほしいと思うがどうか。

答 歌副町長
認定コースということもあり管理運営上の制約、スタッフの確保など課題が出てくる。今後担当課と検討を重ね、実行委員会に諮りその判断を任せたい。

問 マラソンが来年あるかどうか分からないのに、予算も時間も掛けられない。最低でも任期中はやりますと明言してほしい。



海部川風流マラソン吉野地区をあげての応援

ふるさと納税のPRをもっとしていくべき

〈町長〉 今後はPR活動に努めていきたい

答 町長
私の基本的な姿勢として、イベントを実施した限り10回は続けたい。実行委員会での私の意見は述べるが、するしないの決定は実行委員会が決めることである。

問 ふるさと納税制度がスタートしてから25年度までの6年間で、平均約97万円のふるさと納税をしてもらっている。26年度と27年度は、何件でいくらのふるさと納税があったのか。

答 総務課長

26年度は21件で90万5000円。27年度は現時点で40件の141万3000円。

問 先日のフルマラソンで、ふるさと納税枠を設けた。どの程度の問い合わせがあり、何件の申し込みがあったのか。

答 総務課長
問い合わせが14件で、申込は11件の69万円。

問 海陽町から他の自治体にふるさと納税を行っている人は、6年間で17人、23万円であった。26年度、27年度はどうであったのか。

答 総務課長

26年度は2人で5万円。27年度は5人で20万円。

問 頑張る自治体と受け身の自治体との格差が広がっていきばかりである。海陽町もしっかりとPRしていくべきであると思うがどうか。

答 町長

制度として定着している以上、最大限活用すべきである。今後はPR活動に努めていきたい。

ふるさと納税制度の再考を



原 ひろみ 議員

〈総務課長〉寄付金に応じて品物を変えるなどしたい

問 返礼品が人気の自治体に集中しているが、海陽町への寄附金との差は一体何か。今こそ仕組みをもっとPRして利便性を良くする工夫が必要と思うがどうか。

答 佐藤総務課長
今は20000円程度の返礼品だけであるので、寄附金に応じて品物を変えるなど、研究していきたい。

問 6事業への寄付金が8年間どのくらいか。

答 総務課長
100件の納税があり、ふれあい事業34万5000円、あんしん事業24万円、うるおい事業125万5200円、はぐくみ事業176万5000円、こうりゅう事業28万円、きょうどう事業への寄付はなかった。事業を指定していない寄付は424万5195円であった。

問 事業の目標金額の設定、活用方法は。すでに事業は興しているのか。

答 総務課長
目標金額は設定していない。事業に使うにはそれほど額になっていないので、ある程度の金額になってから活用したい。

問 お金をストックするだけでなく、タブレット端末やモニターを導入したいなど、具体的な計画を立てる必要があるのではないのか。

答 総務課長
研究していきたい。

問 ふるさと納税のPR方法と送金方法の現状はどうか。電子決済はどうしてできないのか。

答 総務課長
PR方法はホームページ・ふるさとチョイスへの掲載、広報で正月・盆の帰省者をターゲットに掲載している。各地域でのイベントでチラシを配布するなどの活動もしている。

送金方法は郵送で用紙を送り、銀行などで振り込んでいただく。

認知症対策と見守り強化を

〈地域包括ケア推進課長〉

589人のサポーター登録がある

問 町では認知症に対する支援はどの程度進めているのか。

答 中野地域包括ケア推進課長
社会福祉協議会に地域包括支援センターがあり、高齢者や認知症などの総合相談窓口となっている。関係機関と連携して、適切な支援に繋げる体制をとっている。

問 認知症カフェの設置、認知症サポーター養成はできているのか。

答 地域包括ケア推進課長
カフェはないが、高齢者の閉じこもり防止、孤独の解消目的として、いきいきサロンが41カ所ある。

認知症サポーター養成講座を町・社協職員、老人クラブ、民生委員、小中高の学生を対象に実施しており、589人のサポーター登録がある。

問 徘徊のある認知症を早期発見し、事故の未然防止と家族の介護負担を軽減するため、見守りステッカーを交付してはどうか。

答 地域包括ケア推進課長
高齢者などに救急医療情報キット、見守りキーホルダーの配布をしている。救急車で搬送された場合や、徘徊などで警察に保護された場合、キーホルダーが目印となって福祉課に連絡が入り、名前など確認できるシステムとなっている。

問 自分でできる認知症の簡易チェックシステムをホームページに開設したり、広報に載せられないのか。

答 地域包括ケア推進課長
ホームページで介護や高齢者支援の内容について充実できるように進めたい。認知症簡易チェックシステムも取り組めるよう検討したい。



「認知症」の症状は？

般 質 問



高島 武夫 議員

問 本町では、南海トラフ巨大地震の被害想定を踏まえ、緊急避難場所や避難路等の整備が進められてきた。しかし、一次避難以降における避難場所や、応急仮設住宅の候補地等は十分な状況では

なく、特に穴喰地区では国道55号は分断され、孤立し、甚大な被害が予想されている。

現在検討中の穴喰地区住民の二次避難場所となる、地域防災公園の検討内容と高規格道路「海部道路」では、海陽町が分断されず防災や町の発展のため、穴喰・海部間のルートを優先してリーダースhipを取り、国や県に強力で要望してはどうか。

答 東谷建設課長

穴喰地区では1800人以上が避難場所での生活を余儀なくされると予想され、防災公園の役割や災害時及び平時の利用形態等を考慮し、施設の配置計画などの検討をしている。

必要な機能案として

は、ヘリポート・物資の集積所・応急仮設住宅建設用地。これらを整備するため必要な面積は2.3haとされ、防災公園の基礎的資料、スベック等が取りまとまったところである。今後、海部道路の事業者である国・県の危機管理・道路部局や、町の防災関係者と計画、検討を進めたい。

答 前田町長

海陽町では海部・海南地区間は、地震により落橋しない限り一体性を保つが、穴喰地区は国道が分断されると地区全体が孤立する状況となる。海部道路の整備は、まず海部・穴喰間を優先すべきと考えている。国・県とも協議し、新規事業化、早期整備を目指し、議会と強力で進めていきたい。

また、新年度からは防災公園と海部道路、海部・穴喰川の浸水対策の専任職員を特命で配置する予定である。

子育て支援は

〈町長〉
子どもあゆみ
基金を活用

問 合併10年を経て人口は1万人を切る状態である。町長は、まち・ひと・しごと創生総合戦略を立て、特に、人口ビジョンを設け毎年約105人の定住、特殊出生率40%の向上、仕事の創出などの対策をすれば、平成72年に8300人程度の人口を確保できるとの数値目標を上げています。特効薬はなく、仕事の創出などの経済的な問題が一番であり、若い世代が安心して子どもを産み育てていける環境づくりが行政の仕事である。

どのような支援策が

あるのか。また、共働き世帯が子どもを産む時、大企業・公務員等は産休制度があるが、臨時・派遣・契約・パート・自営業などはそのような制度も少なく、仕事を辞めると収入はなくなる。その間、それを経験すると2人目、3人目などは考えられないと聞かされた。

答 長江保健環境課長

妊婦には14回の妊婦一般健康診断、郡外の交通費、宿泊料の助成、保健師のパパママ教室、家庭訪問を行っている。

答 浦川福祉課長

子育て世帯の経済的負担に対する支援としては、18歳までの医療費助成、給食

費助成、第三子以降の保育料無料化等を行っている。また、ベビー用品の貸し出し事業も開始する。

出産・子育て・教育まで、切れ目のない支援の充実を図り、安心して子どもを産み育てられる環境の整備に努めていきたい。

答 町長

確かにいろいろと充実できていない部分はあるが、子どもあゆみ基金を活用し検討していきたい。



先生とお帰ります(海陽幼稚園)

穴喰地区の防災公園は

〈町長〉専任職員を特命で配置

経営悪化の改善策は



海南病院

〈町長〉地域包括ケア病床を導入



長岡 秀一郎 議員

問 資料等を検討しても経営内容は大変厳しい状況にある。平成22年度と26年度を比較すると、入院収入で56%の減収、外来収入は59・5%の減収

となつている。また5年間で14億2000万円の一一般財源を繰入、26年末繰越欠損金は3億7543万円の赤字を計上している。病院の設置者として経営悪化の原因はどこにあると考えているのか。

答 前田町長

町の人口減少、町内の医療機関の充実、医師不足で充実した医療体制が取れていない等の原因が考えられる。少子高齢化が進み、社会情勢の変化等によって地域医療を取り巻く環境が非常に厳しくなつてきている。

問 外部要因と説明されたが、内部にも原因があるのではないか。その点を分析しない限り改善策は打てない。内部には何

ら問題はないのか。

答 町長

医師不足で費用が余分にかかつている部分もあるし、診療体制が十分にとれていない、また看護師の組織体制もきちんできていないなどの問題があると思う。

問 それぞれの立場で責任を問われる。町長も設置者として予算計上し、議会も承認してきた。しかし、責任の重さは経営を任せている病院内部にあるのではないか。

答 町長

病院の設置者である町に責任があることはもちろんのこと、病院にも責任がある。しかし、責任追及するよりもこうなつた原因を分析し、前に進んでいく方が、海南病院の立ち直りが早いのではないかと思う。

問 原因分析は十分された認識しているのか。

答 町長 している。

問 今回コンサルタントが提案している包括ケア病床を導入することだが、その内容は。

答 町長

国の方針は患者を自宅にかえす医療が叫ばれており、これからは急性期病院を退院した患者を地域の病院で受け入れることが、地域のニーズになつてくると思う。また、コンサルタント会社からも地域包括ケア病床を目指すことが海南病院の経営状態にも良いという指摘をいただき、生き残りをかけた戦いをする上でも、地域包括ケア病床を導入するのが最後の選択肢である。

問 町民の中には、長期療養型、また福祉施設を希望する声があるが、どう答えるのか。

答 町長

そういう選択は最終

的にすべきだと考える。有償診療所、療養型病床、介護施設という順番を踏むべきで、病院職員の生活を守るためにも病院は病院として存続したい。

問 医師を含むマンパワーの確保は可能か。

答 町長

包括ケア病床導入にあたり、もう1人理学療法士か作業療法士を雇用しなくてはいけない。現在、15対1の一般病棟なので、13対1に引き上げることで、3858万円の増収が見込まれる。

問 現場には十分話し、一致結束して取り組む意識を醸成しているのか。また、新たに採用する医師との連携は進むのか。

答 町長

院長、医師等には話をさせてもらい、こちらの思いは伝えたし、医師等の思いも十分聞いた。内部組織と新しく入る

先生の間で問題が起きないように努力したい。

問 経営改善に向け事業計画を示し、目標設定をする必要があると思うが。

答 町長

医師、看護師等が目標を定め頑張つてほしいし、指導していきたい。

問 将来、町の負担を軽減するため、町民の理解があれば、公設民営で指定管理することも考えられるが。

答 町長

民間病院になると、職員を雇用するには100%利益を上げた上での雇用しかないのでは、不可能である。

問 包括ケアの受入施設である特養海南荘の高台移転を検討してはどうか。

答 町長

組合議案に提案し、検討・協議することになる。

一般質問

海陽町議会では、総務産業建設・文教厚生部の2常任委員会を設置しています。
 本会議から付託された議案を3月7日、8日、9日に開催された各常任委員会で活発に審議をいたしました。

総務産業建設常任委員会

地方創生加速化交付金事業始まる

委員長 戸田 眞理子

3月7日、9日開会。

上程議案の説明を受けた。今定例会には、54議案が提案されており、そのうちの40議案が当委員会の所管であり、抜粋して報告する。

新設の海陽町地域活性化交流施設の設置及び管理に関する条例は、遊休施設（浅川・川上・奥浦・竹ヶ島校舎）の有効活用を行うものである。維持

管理については指定管理者により行うこともできる。

平成27年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれに6524万円を追加し、78億7563万円とする。繰越明許費は13億6千万円と3億174万円となっている。地方創生加速化交付金事業（表のとおり）

事業内容	事業費
1 移住・定住施策	
「四国の右下」若者創生事業	340万円
海陽町暮らし体験事業	586万円
中・高校生向けITプログラミングキャンプ	240万円
海陽町ふるさと魅力創造しごと事業	759万円
2 受入体制整備施策	
みらい創造事業	535万円
海陽町ふるさと創造戦略補助金	710万円
みらいの担い手育成事業	610万円
空き家等住宅情報の提供体制整備事業	467万円

事業名	事業費
1 竹ヶ島海域公園魅力化事業	2749万円
阿佐東地域観光ツアー造成事業	1020万円
2 まちづくり人材育成事業	204万円
海陽町まるごとPR事業	142万円



平成28年度海陽町一般会計予算は67億5300万円、対前年3億2300万円の増額予算。その概要説明では、歳入に於いての自主財源は12億6408万円（18.72%）、うち町債は5億9890万円である。

歳出項目の義務的経費では、人件費8億8912万円、扶助費5億1032万円、公債費8億6390万円、合計22億580万円。投資的経費は普通建設事業費で7億9591万円。災害復旧



カサゴ（ガガネ）を放流しました（栄喰小学校3年生 2015.11.26）

事業費で2540万円となつている。職員数は、正規152人、臨時100人のうち10人は地域おこし協力隊員であるとのことであった。

平成28年度の海陽町特別会計予算の各事業について①公共下水道事業（浅川・海部・穴喰）②農業漁業集落排水事業（神野・川西・日比原・竹ヶ島）③簡易水道事業（川西・海部・中里・川上）以上11特別会計の繰入金合計は2億9711万円となる。

海陽町鉄道経営安定基金特別会計予算については、前年同様に（株）阿佐海岸鉄道への補助金7500万円を計上し、関係市町村からの負担金1645万円を鉄道経営安定基金として積み立てる。

海陽町上水道事業会計予算については、業

務予定量は昨年と同様で、事業収益として1億3472万円を計上。対前年度費267万円の減、事業費1億2500万円に対前年比300万円の減である。給水収益の水道使用料は1億2819万円を計上している。営業費のうちの委託料では、水道施設水質検査で84万円、3施設の電気保安業務に36万円、漏水調査に100万円、検査集金委託料は6人分で420万円等とのことであった。



文教厚生常任委員会

穴 喰診療所院外処方に移行

委員長 三浦 茂貴

3月8日開会。

条例関係は空き家の管理、医療費の助成など保健福祉環境関係が5件。また人事案件では、教育委員の任命が1件であった。

続いて審議した平成27年度海陽町一般会計補正予算の所管の部分については実績に伴う減額など。また、特別会計の補正は、確定または見込みに伴う財源調整などが主であった。

その後、当初予算の審議に入り、平成28年度一般会計予算の所管の部分について説明を受けた。民生費

17億3512万円（前

年度比1億76万円減額）、衛生費7億2152万円（前年度比108万円増額）、教育費6億9430万円（前年度比1億5505万円増額）で、主なもの

は、子どもあゆみ事業費1411万円、海部公民館耐震改修工事ならびに設計委託料9700万円、母川大うなぎ生息地調査委託料400万円、文化施設長期修繕計画作成業務委託料640万円、松原町民グラウンド防球ネット新設工事ならびに設計委託料650万円、海陽学校給食センター新築工事設計委託料1400万円などであった。

特別会計の主なものは、穴喰診療所が平成28年度から院外処方に移行するために伴うものなど。その他は、実績を踏まえた見込み金額の計上などである。最後に海南病院事業会計予算の説明を受け閉会した。



海部公民館巡視

課題は4点

町長 前田 恵

平成26年5月に町長就任以来2年になり、任期の折り返しを迎えようとしている。その間、大きな災害や台風被害に見舞われながらも町民の幸せ

のみを願い進んできた。町民との協働、また住民参加によるまちづくりを基本姿勢に、町民の声に真摯に耳を傾けながら町政運営にあたってきた。



10周年記念式典(2016.3.20)



海陽町
みらい会
議は昨年
11月25
日に公開
プレゼン
テーション
を実施し、7ヶ

月間に及んだ協議により出された提案は、海陽町への熱い思いが込められたすばらしいものであった。提案された事業は全て実施すべく、地方創生の事業として予算計上をした。

海部高校生提案の活性化事業は、卒業する3年生の事業として一部先行実施した。平成28年度も再度プロジェクトチームを設置し、みらい会議の在り方について検討する。

昨年実施した国勢調査によると海陽町の人口は9285人で、合併以来初めて1万人を切った。国立社会人口問題研究所が発表していた予測人口は9504人であったので、それよりも厳しい数値となり早いスピードで人口減少が進んでいる。昨年策定した地方創生総合戦略と人口ビジョンに肉付けをし、この5年間でいかに人口減少に歯止めをかけるかにかかってくる。

阿南安芸自動車道・海部道路について、国には一日も早いルート決定、県にも一日も早い都市計画決定をお願いし、新規事業採択時評価の手続きを早く終わるように願うばかりである。

町もできることは積極的に取り組んでいく必要がある。宍喰地域での防災公園と海部道路に関すること。また、海南・海部地区での防災公園と海部道路との関係について検討し、事業実施を行う。

海部川に異常堆積した砂利の除去が急務となっていることから、堆積砂利の公共事業への活用や民間での有効活用について、海部川砂利利用促進協議会を設置し、本町で第一回協議会が開催された。県内初の取り組み「海部モデル」として、早期に堆積砂利を除去する仕組みや、用途を限定しない有効活用方法が協議された。

河口から母川合流部付

近の堆積砂利は国の補助事業により、掘削、運び出し、またその砂利を大里松原海岸の養浜に活用できないか等の提案がなされた。台風時の波浪による影響、越波の軽減を図りたい。

阿佐海岸鉄道について、経営状態は決して良くないが、地域交通の要であり住民の交通機関の確保、交通弱者を作らないという視点から、存続させなければいけない。県もDMV(デュアル・モード・ビークル)の導入に前向きで、技術評価委員会でも専用線区、単車運行、行き違いは道路の上みなどを前提にすれば、特に問題なしとなっている。一日も早く導入に向けた体制づくりが急がれる。

海南病院の改革について、コンサ

ルタント会社から提案いただいた改善策に基づき、できるだけ早く包括ケア病床の導入を目指す。一般会計からの繰入を漫然と続け、何もしないことが許されるならば、そんなことが許されないが、そんなことが許されるはずもなく、あまりにも無責任である。改革・改善を行うのは確かに痛みを伴い、疑問、問題も出てくると思うが、この現状において何もしないことこそ責任問題が問われる。



知事に要望 (2016.3.14)

活動内容を教えてください。

毎週水、土、日曜日と祝日の午前8時～10時まで。場所はまぜのおかテニスコート。(コートの予約状況や人数の都合でお休みになる場合があります。)



随時メンバー募集中です。世代も様々、初心者も経験者も大歓迎です。楽しいですよ。

(連絡先/73-1193 小原まで)

海陽町のいいところは？

人情の厚い人が多く、住みやすい町。それなりにお店も揃っていて生活し

やすい。春はブリ、秋にはカツオが釣れる。自然の恵みが素晴らしい。



狙うはサービスエース！



さあ、こいっ！！

海陽町に対する要望はありますか？

若い世代の働く場をつくってほしい。地域おこし協力隊に期待する。今ある環境は良い方だと思うが、十分に活用できていないように思う。

議会だよりを読んでいますか？

議会だよりは読んでいる人と読んでいない人がいました。(読んでいる人が少し多い)

編集後記

花香る季節となり、新たな希望に胸ふくらませる人も多いことでしょう。

今年は町村合併から10周年、地方創生元年でもあります。人が生きる地方創生を前へ進めていけるよう、町議会も皆様の声を聞きながら取り組んでまいります。

夏には参議院選挙があります。18歳選挙権や一票の格差解消のための合区も新たに実施されます。より良い国になるよう投票棄権することなく、一票を投じたものです。

議会広報もより分かりやすい、読みやすいを心がけ努力しております。ぜひ、多くの方に議会傍聴におこしいただき、皆様のご意見、ご要望をお聞かせいただければ幸いです。

(原)



議会広報編集特別委員会議会事務局
TEL 73-4164 (直通)